

建築・環境学部 建築・環境学科 学びの流れ/カリキュラムマップ (2023年度入学生用)

2022年12月06日作成

1年次	2年次		3年次		4年次	
共通科目 / 専門基幹科目						
総合英語	ドイツ語 フランス語 中国語 ロシア語 スペイン語 日本語 など		建築デザインコース 必修科目		ゼミナール	
キリスト教学	KGUかながわ学 (選択必修) 文学 経済学 哲学 歴史学 社会学 法学 心理学 など		建築デザインスタジオ1		総合デザインスタジオ 推奨	
	微分・積分 線形数学 代数幾何 統計学 物理 化学 生物 情報 など		建築デザインスタジオ2		卒業研究	
専門科目 (必修)						
建築設計製図 I	建築設計製図 II	建築設計製図 III	まちづくりデザインコース 必修科目		ゼミナール	
理工学概論	フレームの力学基礎	建築設計製図 IV	まちづくりデザインスタジオ1		卒業研究	
建築計画・デザイン基礎	建築生産・材料基礎		まちづくりデザインスタジオ2		総合デザインスタジオ 推奨	
	建築環境・設備基礎		すまいデザインコース 必修科目		ゼミナール	
			すまいデザインスタジオ1		卒業研究	
			すまいデザインスタジオ2		総合デザインスタジオ 推奨	
			建築エンジニアリングコース 必修科目		構造設計II 推奨	
			建築構造設計製図		施工演習 推奨	
			環境共生デザインコース 必修科目		ゼミナール	
			パッシブデザインスタジオ		卒業研究	
			建築環境・設備実験 推奨		ゼミナール	
専門科目 (選択)						
ドローイングWS	モデリングWS	ビルディング・WS	ランドスケープデザイン・WS	建築法規B	建築法規A	コモン
基礎数学 I	基礎数学 II	基礎数学 III		測量学及び実習		
CAD演習 I		CAD演習 II		環境デザイン概論A	環境デザイン概論B	
		建築計画 I	建築計画 II	近代建築史	住居史	
		日本建築史	西洋建築史	建築再生計画論	アーバンデザイン	デザイン分野
			建築デザイン論	都市形成史		
			まちづくり論	不動産学基礎		
			ランドスケープ論	すまいデザイン論		
			家族論	フレームの力学 III	建築構造実験	
		フレームの力学 I	フレームの力学 II	鉄骨構造	構造解析学	
		静定フレーム演習	不静定フレーム演習	鉄筋コンクリート構造	構造設計 I	
			建築構造計画	建築振動学		
			建築耐震工学概論	木質構造		
		建築材料学 I	建築材料学 II	建築生産	建築施工学	研究室配属
		建築構法 I	建築構法 II		ファシリティ・マネジメント	
			建築材料実験	建築電気設備論	建築病理学	
		建築熱環境	建築水環境	パッシブデザイン	建築・都市環境	材料・施工分野
		建築光・音環境	建築空気環境	建築設備計画	環境設備リニューアル	
		サステイナブル建築・環境学実習		建築環境シミュレーション	建築設備・設計演習	
					建築環境エネルギー	環境・設備分野

推奨：必修ではありませんが、所属コースの科目の履修を強く推奨します。

CP：カリキュラム・ポリシー (概要)

建築・環境学は狭い意味での工学技術の一分野ではなく、ひとつの全体性を備えた総合的な学問領域であり、その多面性から本学部・学科は5つのコースを設けていますが、教育課程として1つの「学びの流れ」がコース共通に流れる特徴ある編成としています。

この流れは1・2年次の建築設計製図、3・4年次から分かれるコース毎のスタジオ(卒業研究を含む)により構成され、学部共通に1年次より用意された共通科目及び専門科目の個別的科目群を総合化する場として位置付けられています。ここでは学生第一と考え、学生一人ひとりの多様な資質や能力に肌理細やかに対応する少人数制指導により、設計を中心とした実践的な学修を行います。

DP：ディプロマ・ポリシー (概要)

建築・環境学の総合的かつ体系的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追究し、それに応えることができる人材を育成するために用意された諸科目の修得を求めます。

- 具体的には、
- ・建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している
 - ・建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる
 - ・建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している
 - ・上記コース毎に設定されたDP(diploma policy)を修得している